



社会福祉法人 花輪ふくし会

# 中長期基本計画

(令和3年度 ～ 令和12年度)

# 法人理念の実現を目指して

花輪ふくし会は昭和40年4月に社会福祉法人としての認可を受けて、当地域における社会福祉の向上と多様化する福祉ニーズへの対応のため、高齢者福祉事業、障がい者福祉事業ともに様々な事業を展開してまいりました。また、社会福祉法の一部改正により、社会福祉法人に対する公益的活動への取り組みが義務化されましたが、当法人においては、改正以前より公益的活動にも取り組み、地域における社会福祉法人としての役割を果たすことを目指してまいりました。

我が国は今、急速な少子高齢化により高齢化率の上昇と人口減少という大きな課題に直面しております。当地域においても、働く世代人口の急激な減少の中で、如何にして人材を確保し育成していくのかが喫緊の課題となっております。加えて、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、感染防止と事業の継続の両立も求められており、より計画性のある事業の推進が必要であると考えております。当法人ではこれまで、3年間を区切りとした基本計画を策定し、着実な事業の推進を図ってまいりましたが、前述のとおり中長期的な視野による計画の必要性があることから、本計画を策定したところです。

当法人は、経営理念に「笑顔とありがとうの心で地域福祉を創造する」ことを掲げております。笑顔には安心感を与える力があり、ありがとうという感謝の心は誠意のある任務の遂行につながります。すべての職員がこの理念を強く意識し実践することこそが、地域における福祉の推進と向上につながるものと信じております。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることは誰もが願うことであり、その実現のために私たち社会福祉法人の存在意義があると考えております。法人の経営理念の実現のため、中長期におけるビジョンを基軸として地域の皆様や関係機関の方々と協力し合い、計画を進めてまいります。安心して暮らせる地域づくり、利用してよかったと思っただけの法人づくりのため努力してまいりますので、これまで以上のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 花輪ふくし会経営理念

『 笑顔とありがとうの心で  
地域福祉を創造します 』

# 中長期計画の策定にあたって

## 計画策定の目的

- \* この地域において、信頼のある社会福祉法人であり続けること
- \* 事業の目的や方向性を内外に示した透明性の高い事業運営
- \* 社会情勢や地域社会の現状を見据えた長期的視野での計画の立案
- \* 利用者サービスのさらなる向上と安定した経営基盤の確立

## 課題

- \* 働く世代人口の減少
- \* 看護師不足の深刻化
- \* 施設建物の老朽化
- \* グループホーム利用者の高齢化
- \* 利用者本位のサービスを行うための人材育成
- \* 職員のワークライフバランスの向上
- \* 自然災害の発生リスクが高くなっている

# 鹿角市の人口推移予測(2019年～2035年)

| 2019年 | ～19歳  | 20～64歳 | 65～79歳 | 80歳～  | 合計     |
|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 男性    | 2,227 | 7,612  | 3,409  | 1,378 | 14,626 |
| 女性    | 2,160 | 7,006  | 4,065  | 3,080 | 16,311 |
| 合計    | 4,387 | 14,618 | 7,474  | 4,458 | 30,937 |

| 2025年 | ～19歳  | 20～64歳 | 65～79歳 | 80歳～  | 合計     |
|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 男性    | 1,769 | 6,293  | 3,316  | 1,275 | 12,653 |
| 女性    | 1,757 | 5,627  | 3,724  | 3,042 | 14,150 |
| 合計    | 3,526 | 11,920 | 7,040  | 4,317 | 26,803 |

| 2030年 | ～19歳  | 20～64歳 | 65～79歳 | 80歳～  | 合計     |
|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 男性    | 1,523 | 5,639  | 2,903  | 1,483 | 11,548 |
| 女性    | 1,497 | 4,900  | 3,243  | 3,033 | 12,673 |
| 合計    | 3,020 | 10,539 | 6,146  | 4,516 | 24,221 |

| 2035年 | ～19歳  | 20～64歳 | 65～79歳 | 80歳～  | 合計     |
|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 男性    | 1,329 | 5,122  | 2,477  | 1,541 | 10,469 |
| 女性    | 1,271 | 4,310  | 2,707  | 3,006 | 11,294 |
| 合計    | 2,600 | 9,432  | 5,184  | 4,547 | 21,763 |

# 花輪ふくし会 年齢別職員状況(2019年10月現在)

| 法人全体  |     |     |     | 内 訳 |     |     |      |     |     |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|
|       |     |     |     | 正職員 |     |     | 契約職員 |     |     |
| 年齢層   | 男性  | 女性  | 合計  | 男性  | 女性  | 合計  | 男性   | 女性  | 合計  |
| ～29   | 33  | 38  | 71  | 30  | 29  | 59  | 3    | 9   | 12  |
| 30～39 | 36  | 49  | 85  | 29  | 33  | 62  | 7    | 16  | 23  |
| 40～49 | 56  | 96  | 152 | 42  | 55  | 97  | 14   | 41  | 55  |
| 50～59 | 46  | 109 | 155 | 25  | 42  | 67  | 21   | 67  | 88  |
| 60～69 | 56  | 105 | 161 |     |     |     | 56   | 105 | 161 |
| 70～79 | 16  | 40  | 56  |     |     |     | 16   | 40  | 56  |
| 80～   |     | 2   | 2   |     |     |     |      | 2   | 2   |
| 合計    | 243 | 439 | 682 | 126 | 159 | 285 | 117  | 280 | 397 |

# 中長期ビジョン

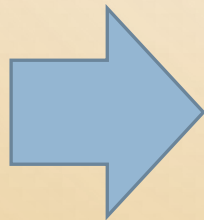
## 『この地域に、あってよかった花輪ふくし会』

私たちは、地域の福祉の担い手として、利用者にも、法人で働く職員にも、そしてこの地域にも、すべての人にとって「花輪ふくし会がそこにあって良かった」と思っていただけの社会福祉法人であり続けることを目指します。

# 内部統制

## 組織管理の向上・中長期ビジョンの達成

- (1) 業務の有効性及び効率性
- (2) 財務報告の信頼性
- (3) 事業活動に関わる法令等の遵守
- (4) 資産の保全



- ・プロセスに沿った業務の遂行
- ・組織的なリスク管理



# 利用者サービス向上計画

## 『 真に利用者本位のサービスの実践 』

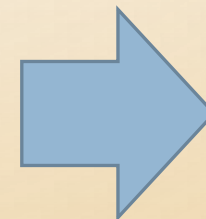
- (1) 利用者本位のサービスの実践
- (2) 利用者の権利擁護に基づくサービスマネジメント
- (3) 安心安全のための専門性の向上
- (4) サービスの質の維持向上のための業務改善

# (1) 利用者本位のサービスの実践

- \* 『**主役は利用者である**』ことを常に意識する
- \* 介護や支援スキルは、利用者本位のサービス提供のため
- \* 職員本位になっていないかの振り返り

# (2) 利用者の権利擁護に基づくサービスマネジメント

- ・サービスマネジメントに関する指針
- ・事故防止に関する指針
- ・虐待防止に関する指針
- ・身体拘束廃止に関する指針



- ・**職員への浸透**
- ・**理解を深める**

### **(3) 安心安全のための専門性の向上**

- \* 認知症ケアや口腔衛生管理、喀痰吸引資格取得の推進
- \* 専門職による機能訓練、リハビリテーションの実施
- \* 積極的な外部研修への参加、法人研修の充実

### **(4) サービスの質の維持向上のための業務改善**

- \* 介護ロボット、ICT技術の導入
- \* 上乘せ型の業務改善から総合的な業務改善へ
- \* 利用者本位の視点でのサービスの組み立て

# 施設整備計画

## (1)「あすなろ・更望園」新築統合移転計画

- \* 身体障がい者や高齢障がい者向けの介護環境の充実
- \* リハビリテーション機能の充実
- \* 防災環境の向上
  - ・ 令和3年度～基本設計、関係機関との連絡調整
  - ・ 令和4年度～補助金申請
  - ・ 令和5年度～建設工事
  - ・ 令和6年度～事業開始

## (2)「東恵園」新築移転計画

- \*利用者にとって快適な生活空間
- \*先端技術の導入による魅力ある施設づくり
  - ・令和4年度～基本設計、関係機関との連絡調整
  - ・令和5年度～補助金申請
  - ・令和6年度～建設工事
  - ・令和7年度～事業開始

## (3)「鹿角苑」重度高齢者棟増築計画の検討

- \*GH入所者の高齢化、要介護対応
- \*ライフステージに沿った支援の充実

# 各事業所の計画

## (1) 高齢者福祉事業

### \* 養護老人ホーム和光園

- 措置事業における空床の解消
- 総合的な活用の検討
- 行政等の他、関係機関との連携強化
- 職員の有資格者養成

## \* 特別養護老人ホーム東恵園

- 施設本体の新築移転
- 喀痰吸引資格等の有資格者の養成強化
- 先進機器の導入等による魅力ある職場づくり
- 災害発生時対応の強化

## \* 東恵園地域生活支援センター

- SWOT分析による地域状況の把握と事業の安定化
- 強度行動障害支援者の養成
- 認知症支援に対する専門的な事業所づくり
- フレイル予防の啓発

## (2) 障害者福祉事業

- \* のぐちの郷（障害者支援施設あすなろ・更望園）
  - ・あすなろと更望園の統合による新築移転
  - ・高齢の障がい者にも対応した介護環境の整備
  - ・喀痰吸引等の資格取得による医療的ケアの充実
  
- \* 障害者支援施設鹿角苑
  - ・東京都との連携の強化
  - ・利用者の安心安全な生活の維持向上
  - ・重度高齢者棟の増築についての検討



## \* 東山学園（障害者支援施設・福祉型障害児入所施設）

### < 成人施設 >

- ・ 利用者の重度高齢化に対応する支援体制の構築
- ・ 自閉症などの障がいに特化した施設の在り方の検討
- ・ 大規模修繕や建て替え等の将来的な計画の立案

### < 児童施設 >

- ・ 発達障がい児への対応の強化
- ・ 支援学校や児童相談所等、関係機関との連携強化
- ・ 短期入所事業の検討実施

## \* 障害者センター

- ・ 日中活動事業の再編、活動種の見直し
- ・ GHの住替え、短期入所居室の契約入所への転換

### <かづの>

- ・ 鹿角苑との連携強化～鹿角苑重度高齢者棟の検討
- ・ 自然災害の危険が高いGHの解消

### <北鹿>

- ・ 理学療法士等による機能訓練の充実
- ・ 医療的ケア児等コーディネーターの養成
- ・ 医師や関係医療機関との連携による支援体制の強化

# 健全な経営基盤の確立

## (1) 適切な予算統制

- \* 月次決算制度による、予算と実績対比の分析
- \* 仮決算制度による、決算の精度の向上

## (2) 管理会計の実践

- \* 経営における収支改善、経営戦略立案
- \* 稼働率と月次決算による今後の見通しの検討
- \* 各事業所における自立経営の実践

### **(3) 補助金の有効活用**

- \* 施設整備計画における補助金の活用
- \* 行政との協議による福祉計画との連動
- \* 補助団体へのアプローチ

### **(4) 明確な数値目標管理**

- \* 業務のスリム化と統合による経常経費の圧縮
- \* 人件費比率60%以内、物件費前年度比5%減
- \* 稼働率の向上

# 魅力ある法人づくり

## (1) 人材の確保

### \* 新規職員採用の活動強化

- ・ 高等学校、大学、短大、専門学校との連携強化
- ・ 学内説明会や施設見学の充実

### \* 看護師の確保

- ・ 看護師養成学校との連携による看護師の養成

### \* 関係機関との連携

- ・ 行政が行っている移住促進事業との連携

### \* 法人の魅力度の発信力強化

- ・ 広報誌、HP、FBの他、新たな情報発信ツールの活用

## (2) 人材の定着

### \* エルダーメンター制度の充実

- ・ エルダーメンターの継続と効率的な活用
- ・ 職員が自信をもって働ける環境づくり

### \* メンタルヘルス対策の強化

- ・ 対処修復型アプローチから、予防型アプローチへの転換

### \* ハラスメント対策の強化

- ・ 意見や考えを出しやすい風土づくり
- ・ 良好なコミュニケーションによる新たなアイディアの創生

## (3) 人材の育成

### \* 人事考課制度の確実な運用

- ・ 業務に対する適正な評価
- ・ 1 on 1 ミーティングによる職場内の信頼関係の構築
- ・ 職員が目標をもって業務することでの働き甲斐の醸成

### \* 階層別研修の充実

- ・ 新採用から管理職までの計画的な研修の実施
- ・ キャリアパス制度と合わせた人材育成

### \* 資格取得の推進

- ・ 喀痰吸引資格などの利用者の安心安全に係る資格取得の推進
- ・ 医療的ケア児等コーディネーター資格の取得の推進
- ・ 防災士などの地域にも還元できる有資格者の育成

## (4) 働き甲斐があり働き続けたい職場環境づくり

### \* 仕事での達成感がある職場づくり

- ・ 地域社会から必要とされる仕事であることの発信
- ・ 職員表彰制度の運用
- ・ 管理職における女性の割合⇒2割以上

### \* ワークライフバランスの向上

- ・ 多様な働き方への対応
- ・ 各種休業制度の利用促進による子育てや介護ができる環境づくり

### \* 介護ロボットの導入及びICT化の推進

- ・ 人材不足を補い業務の効率化を図る
- ・ 先端技術導入による働き甲斐の創生



# 災害に強い法人づくり

- \* 自然災害の危険度が高いグループホームの解消
- \* 法人全体での災害発生時の避難体制の確立
- \* 法人全体での総合防災訓練の実施
- \* 入所施設における自然災害に備えた避難設備の設置
- \* 防災士の養成
- \* その他防災に関する取り組み

社会福祉法人花輪ふくし会中長期基本計画

令和3年4月1日

中長期事業検討委員会（令和2年度特別委員会）